

# 保険者の取組事例の構造化について

## 令和4年度参加保険者 及び 取組テーマ

【特定健康診査】ジェイアールグループ健康保険組合、関東ITソフトウェア健康保険組合

【特定保健指導】電設工業健康保険組合

【糖尿病性腎症重症化予防】杉並区、府中市

【後発医薬品使用促進】全国健康保険協会東京支部

## ご助言者

東京大学未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット 特任教授 古井 祐司 氏

## 取組状況

《令和4年8月30日》

参加保険者を対象とした「保健事業の構造化及び保健事業カルテの説明会」を開催（講師：古井祐司先生）

《～令和4年9月末》

保健事業カルテを記入

《令和4年10月中旬以降》

古井先生、事務局によるヒアリングを実施（各1回訪問、1～2時間程度）

《～令和5年1月中旬》

参加保険者にて、ヒアリング内容をもとに保健事業カルテに再加筆

《～令和5年2月末》

- ・古井先生による保健事業カルテ及びヒアリング内容に対するフィードバック
- ・各会議等での結果報告
- ・東京都保険者協議会ホームページへの掲載

## 事業実施の流れ

- |                                     |   |   |
|-------------------------------------|---|---|
| ① 参加保険者の選定・依頼                       | } | 済 |
| ② 参加保険者へ保健事業カルテの趣旨・内容の説明            |   |   |
| ③ 保健事業カルテへの記載                       |   |   |
| ④ 学識経験者によるヒアリング                     |   |   |
| ⑤ 保健事業カルテ(学識経験者の講評有り)のホームページ掲載 …準備中 |   |   |

## 本事業参加保険者の主な感想

○課内や関係部署とのコミュニケーションが取れていることが事業目標達成の工夫につながっていると古井先生に教えていただき、今後も共有できる環境を整えていこうと考えている。このような小さなことに気づく良いきっかけとなった。

○カルテは課内の教育、事業の見直しに活用できそうである。

○他の事業の保健事業についてもカルテを作成し、それぞれのカルテを他の保険者と比較することで活用できると思う。

○実施事業に関する内容が一つにまとまっていることや暗黙知の掘り起こしができたことから、事業について担当以外との共有が図りやすい。

○作成作業を通して、過去の事業運営方法等の資料を多々目にしたこと、事業運営の経過を踏まえて、今後の実施方法等の検討をすることができた。

○古井先生から有意義なアドバイスをいただき、今後の取組み内容に関して課内で話す機会となった。

## 年間スケジュール

	令和4年			令和5年
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
保険者協議会		7月 進捗状況報告	12月 進捗状況報告	2月 構造化結果報告
テ分保活	6月 進捗状況報告		11月 進捗状況報告	1～2月 構造化結果報告
取組	①	②,③	④	⑤